

1545年の室町時代に、^{しもだてじょうしゅ}下館城主（^{のち}後の久下田城主）^{みすのやでわのかみまさむら}水谷出羽守正村（^{みすのやばんりゅうさい}水谷蟠龍齋）
によって建てられました。

^{そうとうしゅう}曹洞宗のお寺で、^{だんりん}全国80壇林（^{ぶつきょう}仏教の学問所・^{がくもんじょ}僧侶の養成所なので、^{そうりょ}今でいうお坊さん^{ようせいじょ}のための学校です）の一つになります。

^{けいだい}境内には天然記念物のシダレザクラや大仏、^{てんねんきねんぶつ}水谷蟠龍齋の^{せきとう}石塔などがあります。



(撮影 上野訓宏)

^{さんもん}山門と^{そうもん}総門は江戸時代（1716～1735年）に建てられました。芳全寺は今まで3度
^{かさい}の火災に遭いましたが、山門と総門は江戸時代に建てられた当時の姿で^{のこ}残っています。



^{みすのやばんりゅうさい}水谷蟠龍齋の^{せきとう}石塔

下館城主だった水谷蟠龍齋は、1544年に久下田城を^{きす}築きました。久下田城を^{きよてん}拠点に宇都宮氏と戦い、数々の^{ぶく}武勲を残しました。1598年に76歳で亡くなりました。

(撮影 上野訓宏)